

I 実践

1 研究主題

互いを理解し、認め合うことができる人権教育の在り方について

(1) 主題設定の理由

本校は75名の生徒が在籍し、1・2年生1クラス、3年生2クラスである。人数が少ない分、幼少期から一緒にいる生徒が多く、学年関係なく仲良くすることができる。一方で、一度関係が崩れると修復が困難になる傾向がみられる。また、1・2年生は単学級でクラス替えがないため、一度出来上がった関係を再構築することが難しい。そこで本研究の主題を「互いを理解し、認め合うことができる人権教育の在り方について」と設定した。

(2) 研究のねらい

各教科、特別の教科道徳、総合的な学習の時間、特別活動等の教育活動全体を通して人権教育の充実を図り、人権尊重の精神の育成を目指す。

(3) 研究内容

ア 学校行事やボランティア活動、福祉体験等の体験活動を通して人権尊重の精神を育む。

イ 一人一人を大切にした学級経営を実践し、人権感覚や人権意識を育む。

2 実践内容

(1) 総合的な学習の時間における実践

ア エコサイクル(平沢学区内の再生資源の回収活動)〈全学年〉

(ア) 目的

地域での回収活動を通して、働くことの意義について考えさせ、奉仕の心や他者と協力し合う態度を育てる。

(イ) 内容

地域の方に持参していただいた資源ゴミ(新聞・雑誌・段ボール・アルミ缶・ビール瓶)の分別や回収を行う。

(ウ) 活動の様子

活動を通して、協力を得た地域の方に感謝の気持ちをもつとともに、協働することの楽しさややりがいを感じることができた。



エコサイクルでの活動の様子

イ 認知症サポーター養成講座〈1学年〉

(ア) 目的

認知症の人を含む高齢者への理解を深め、高齢者も安心して暮らせる人々に優しい地域を作ろうとする生徒を育てる。

(イ) 内容

社会福祉士2名を講師として招き、認知症とはどのような症状なのか、どのような言葉かけをするとよいのかという話を聞く。



社会福祉士の方の話を聞く様子

(ウ) 活動の様子

真剣に話を聞き、認知症の方への接し方を考える活動に重点を置いた。「困っている人を助けたり、言葉かけに気をつけたりしたい」「今日学んだ事は他の場面でも役に立つね」と感想を述べるなど、今後の生活に生かそうとする態度が見られた。

(2) 学校行事における実践

ア 生徒総会におけるスマートフォン等安全利用のためのルールづくり

(ア) 目的

スマートフォン等の使い方についての話し合いに生徒全員が参加することでどのようなことに気を付けて使用すればよいか、ルールがなぜ必要なのかを考え、実践しようとする態度を育てる。

(イ) 内容

事前に全校生徒にアンケート調査を実施し、生徒会役員が作成したルールの案をもとに話し合いを行う。

(ウ) 活動の様子

進行は生徒会役員や学級委員長が中心となり、様々な意見を尊重しながら意見をまとめることができた。生徒たちは「自分たちで決めたルールだから頑張って守ろうと思う。」
「友達や自分を傷つけないために使い方に気を付けていきたい。」と、感想を話し、自分事として考え、受け止めた様子がうかがえた。



生徒総会での話し合い活動の様子

(3) その他の実践

ア 誰にでも元気よく挨拶をしたり、積極的にコミュニケーションを取ったりすることの大切さに気付かせ、実践に生かせるよう意識付けを図った。

イ 生活アンケート調査やQ-Uテストを実施し、差別や偏見に対する意識や、交友関係や生徒の実態の把握を行った。

ウ 人権作文や人権メッセージへの応募、道徳の授業など、人権について考える機会とした。また、人権コーナーを校内に設置し、コロナ差別など身近な問題への注意喚起を行った。



人権コーナーの様子

3 成果

今年度の学校行事や教育活動全般での取組を通して、人には様々な考え方があると気が付いた生徒が多かった。相手の考え方を認め、思いやる言動が見られた。また、異学年間での交流等を通して誰に対しても明るく丁寧に接することの重要性を確認することができた。教職員も日頃の教科指導や道徳の授業において、生徒の自主性や人権意識を高めるよう意識して指導を行うことができた。

II 今後の課題

本校では例年、ボランティア活動として地域の除草作業や敬老会、子ども祭りに参加したり、防災訓練を地域の方と合同で行ったり、1年生の心ゆたかな体験学習においては自分たちで作ったうどんを地域の老人と一緒に食べるなど、年齢の違う地域の方と活動することが多かった。しかし、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、実施できなかった行事が多くあり、地域との交流や地域のために働く機会を作ることが難しかった。今後もこの状況がしばらく続くことを考え、これらの活動からの学びを新たな取組で確保し、人権教育の充実を図っていけるよう工夫していく。